

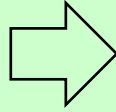
持続可能な農業の確立による地域振興への貢献 ～有限会社 齋藤農園～

経営体の概要

法人設立：平成11年

基幹作物：水稻、かき（柿）
ネクタリン、りんご
いちご

経営面積：4 ha



現在：令和3年

基幹作物：水稻（酒米、WCSを含む）、大豆
かき（柿）、ネクタリン、もも
りんご、いちご、ぶどう

経営面積：43 ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

国営かんがい排水事業により湛水被害の解消がなされるとともに、関連ほ場整備事業が推進されている。平成11年に有限会社齋藤農園を設立し、平成26年には交流の場となるフルーツカフェをオープン、水稻の朱鷺認証米や自然栽培米など環境配慮を優先した農業の実践とともに、観光との連携も含め地域が持続的に発展する農業の確立を目指している。

営農改善のポイント

①単収・品質の向上

国営事業等の基盤整備により干ばつや大雨でも大規模被害がなく品質が向上した。また、水稻は8割を朱鷺認証米として出荷するほか、自然栽培の拡大と環境に特化した米作りなど、味・高品質を追求している。



基盤整備されたほ場（水稻）

②担い手の育成・確保

研修生や里親農家支援制度を毎年受け入れ、県の就農支援事業研修機関となっており、技術だけでなく自立のために農地集積等の相談にも対応している。また、通年雇用には複合経営による冬場の作業が必要なことから、いちご、あんぽ柿等を導入している。



交流の場の運営（フルーツカフェ）

③栽培技術の確立・向上

基盤整備されたほ場は、大型機械による可変施肥機が導入可能となり最適施肥とコスト削減を実現している。また、自然栽培米も乗用機械での除草作業が可能な同ほ場で栽培している。

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：佐渡市

受益面積：3,396ha

事業期間：平成3年～平成25年

事業目的：用排水改良

主要工事：貯水池2箇所、頭首工1箇所、排水機場4箇所、用水路L=32.0km、排水路L=4.4km

位置図（新潟県）



佐渡地区

<問い合わせ先>

北陸農政局

農村振興部農地整備課

営農指導係

電話：076-232-4725

（令和3年度調査時点）